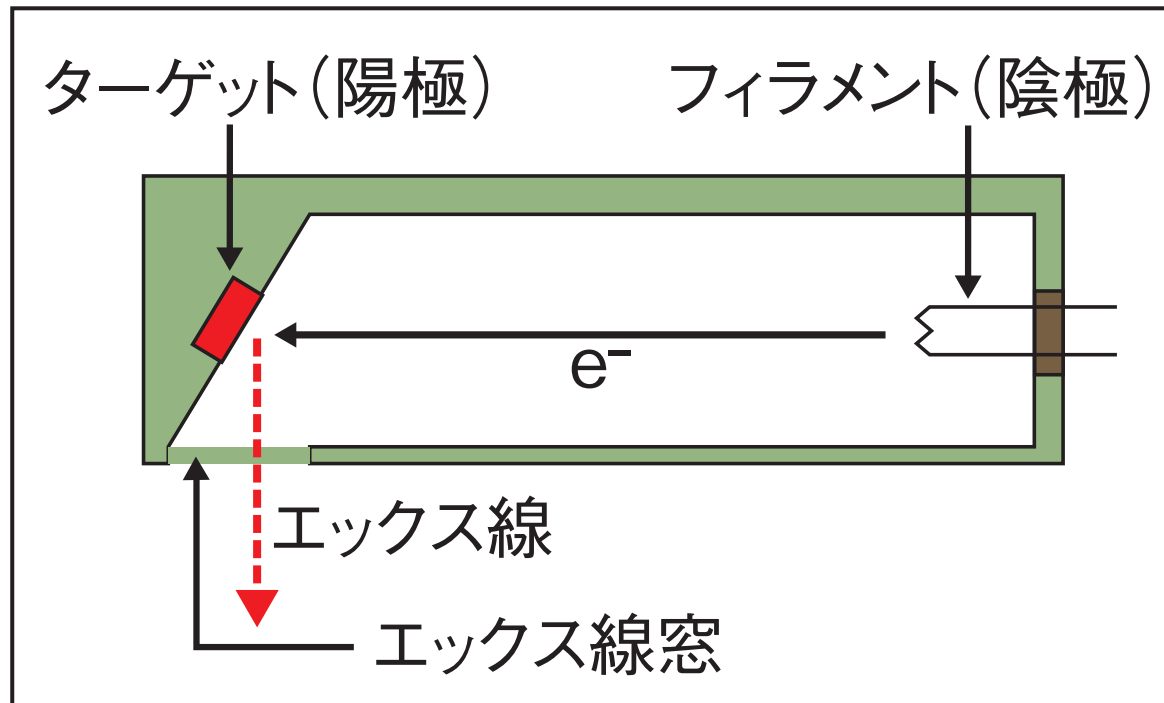


# 《鉛箱》

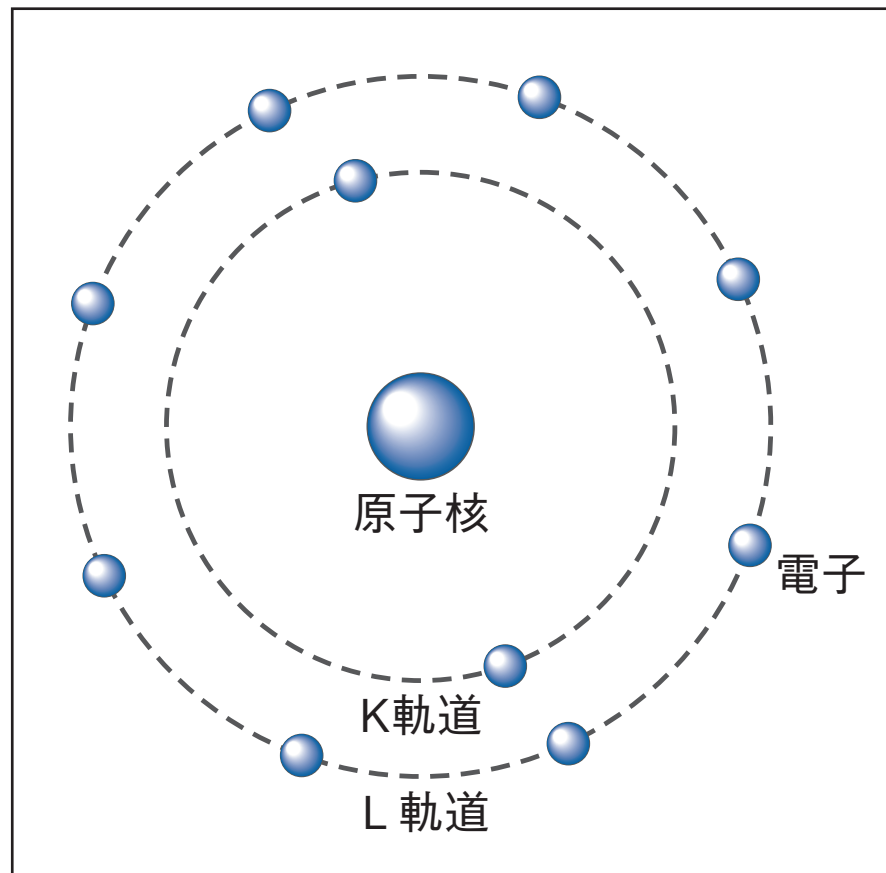


(掲載ページ：教師用解説書P.4)  
写真提供・協力：徳島大学アイソトープ総合センター

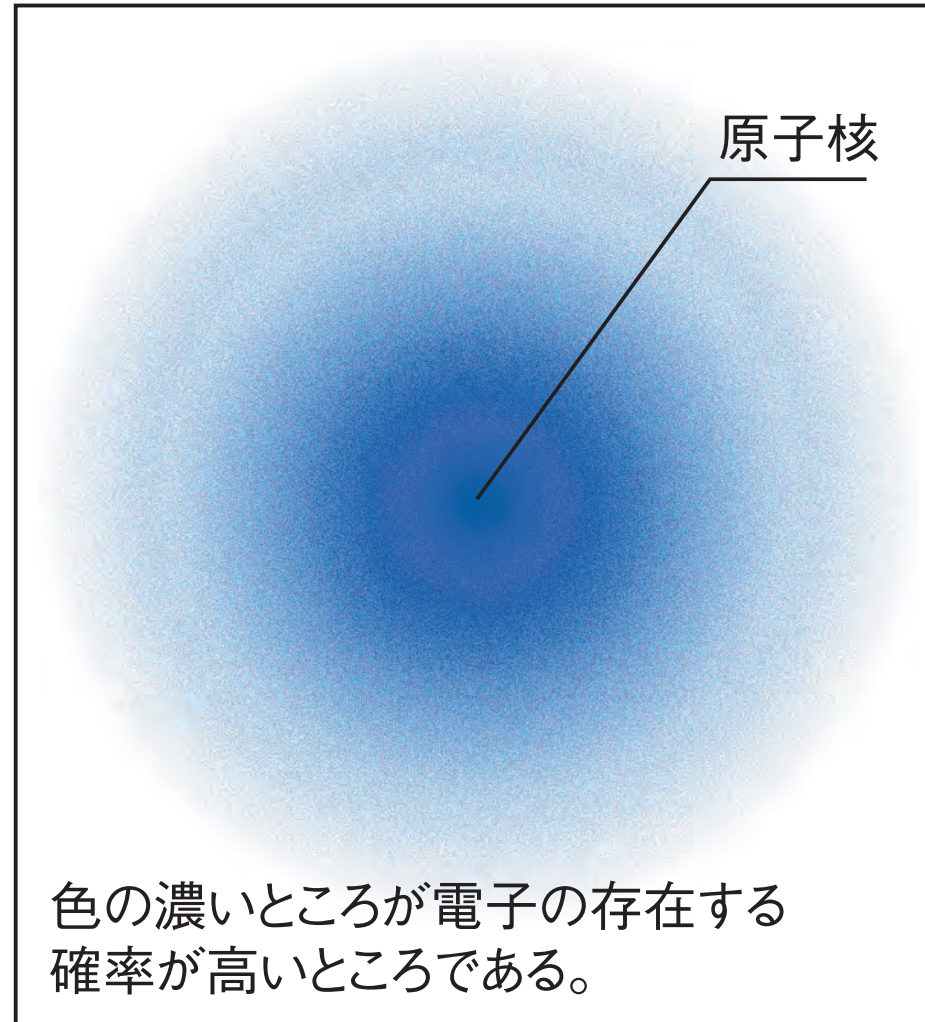
# 《エックス線発生原理》



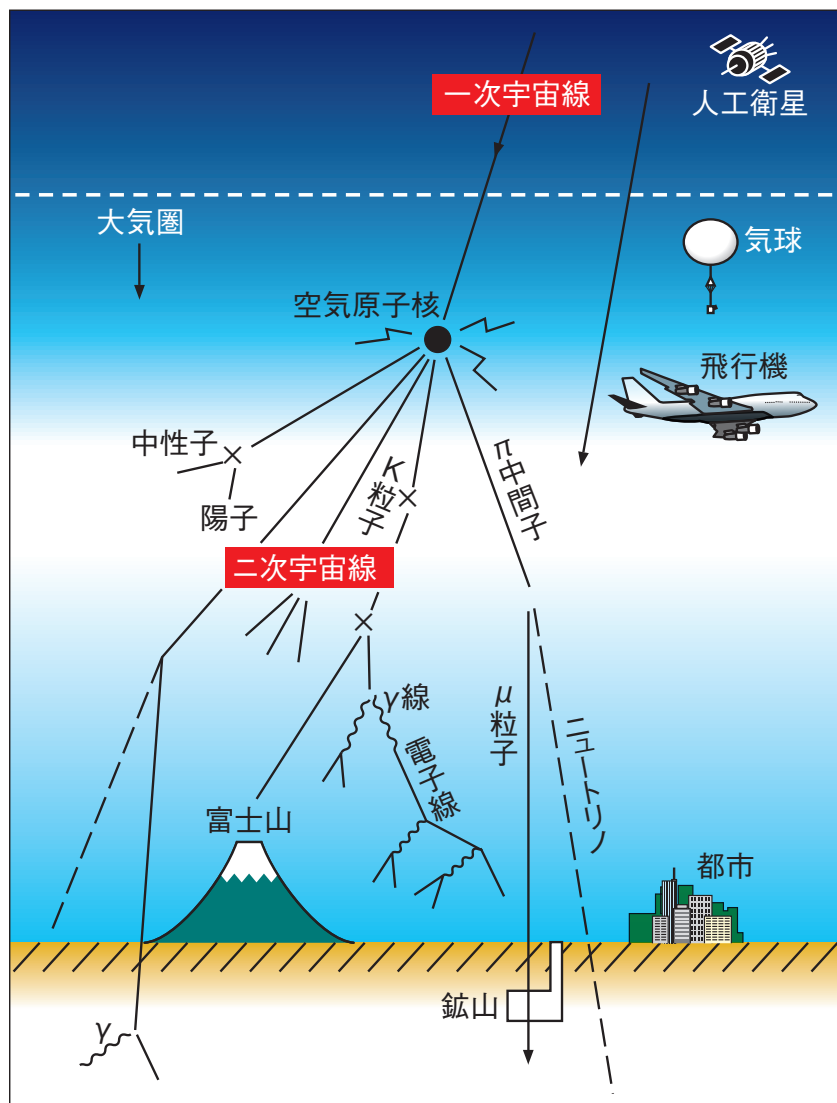
# 《原子のモデル(殻モデル)》



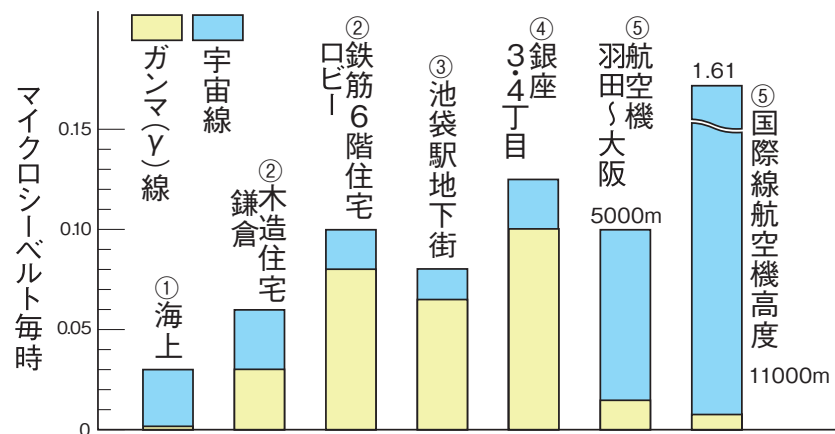
# 《電子雲のモデル》



# 《宇宙線の成り立ち》



# 《色々な場所における自然放射線レベルの違い》



注) 1マイクロシーベルトは1/1000ミリシーベルトに当たる。

それゆえ1マイクロシーベルト毎時は、年間8.76ミリシーベルトになる。

出典:高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター「放射線の豆知識 暮らしの中の放射線」(2005年)

(注)

- ①海上では、海水自体に放射性物質が少なく、また、海底などからのガンマ線が海水によって遮られることからガンマ線は低い。
- ②木造住宅では、コンクリートなどで作られた鉄筋住宅よりガンマ線は低い、コンクリートより宇宙線を遮る力が小さいことから宇宙線は高い。
- ③地下街では、地下にあることから宇宙線は遮られるが、地下街の周辺からのガンマ線が高い。
- ④銀座では、花こう岩が敷石に使われビルディングが立ち並ぶことから、宇宙線より周辺からのガンマ線が高い。
- ⑤飛行機では、宇宙線が空気に遮られないことから、高く飛ぶほど宇宙線量が高い。